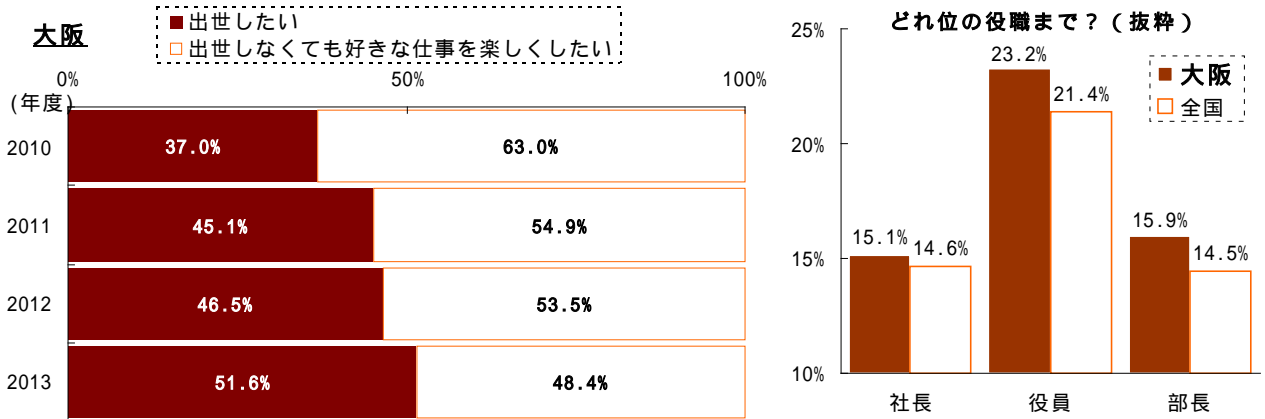


< 大阪版 >

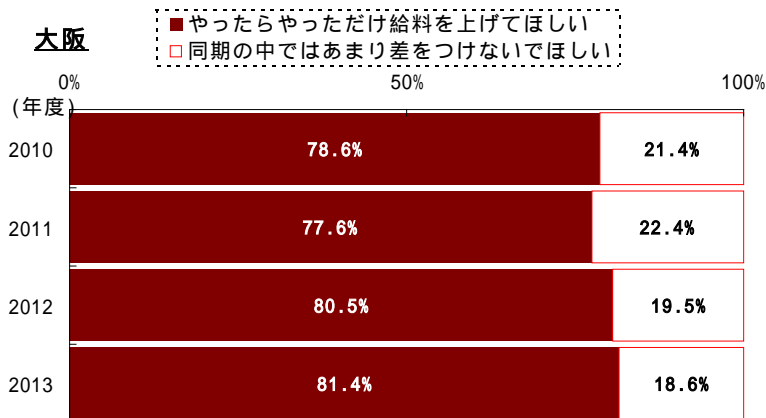
- ・ このところ、大阪の新入社員の出世意欲は上昇しており、今年度は「出世したい」が「出世しなくても好きな仕事を楽しくしたい」を上回った。また、全国と比べて社長や役員、部長まで出世したいという回答割合が高くなっている。

図表 1 - 0 . 出世意欲



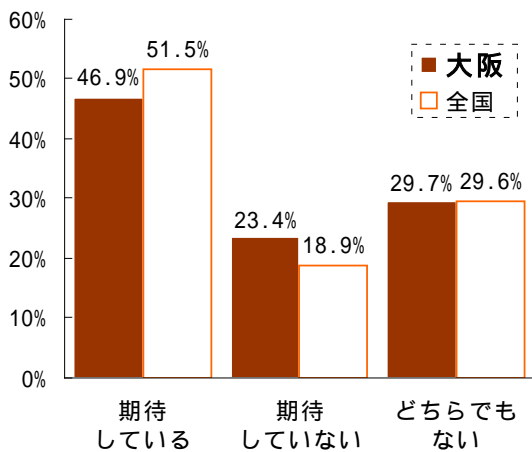
- ・ また、「やったらやっただけ給料を上げてほしい」という考え方が大半を占めており、給料が上がることに對しても意欲的だ。

図表 2 - 0 . 給料に対する考え方

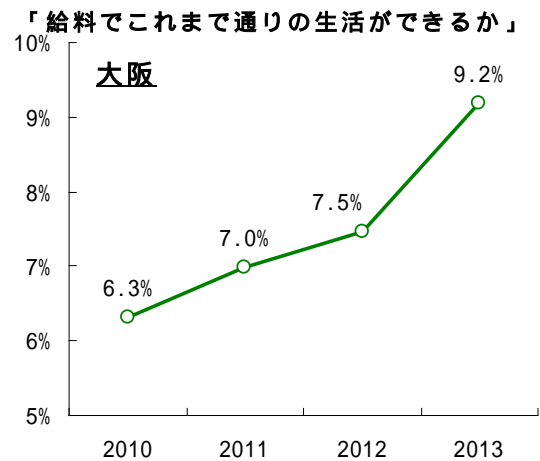


- ・ 全国と同様に、“アベノミクス”に対する認知度は高い。しかし、「内容まで知っている」と回答した人のうち「期待している」と答えた人の割合は全国と比べて低く、厳しい見方をしているようだ。
- ・ 将来に対する不安として「給料でこれまで通りの生活ができるか」と回答した人の割合は、全国と同様に、上昇傾向にある。

図表 4 - o . “アベノミクス”への期待

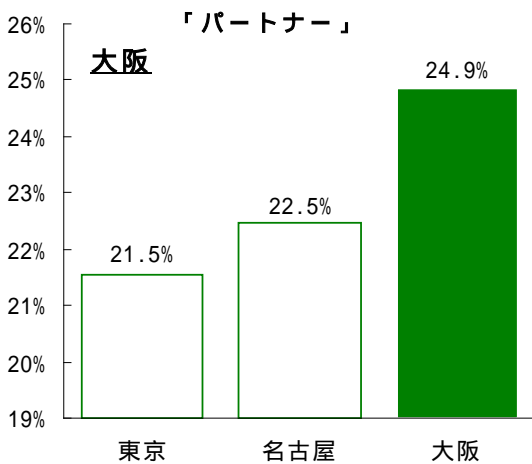


図表 5 - o . 将来に関して不安なこと

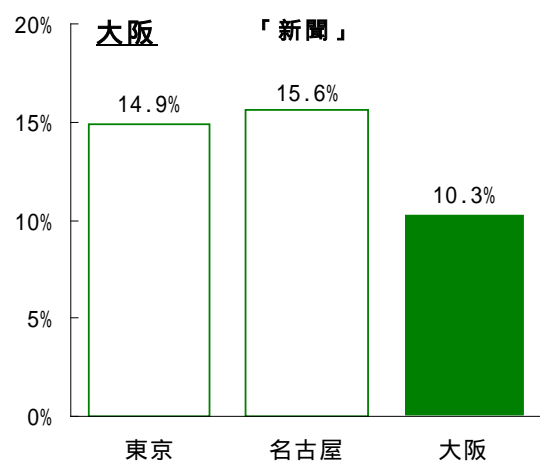


- ・ 初めてのボーナスを「パートナー」と一緒に、もしくは「パートナー」のために使うと回答した人はおよそ4人に1人となっており、東京や名古屋と比べて割合が高い。
- ・ 普段、利用する情報源の端末として「新聞」を挙げた人は全体の1割程度にとどまっており、東京や名古屋と比べて割合が低い。

図表 6 - o . 初めてのボーナスの使い途



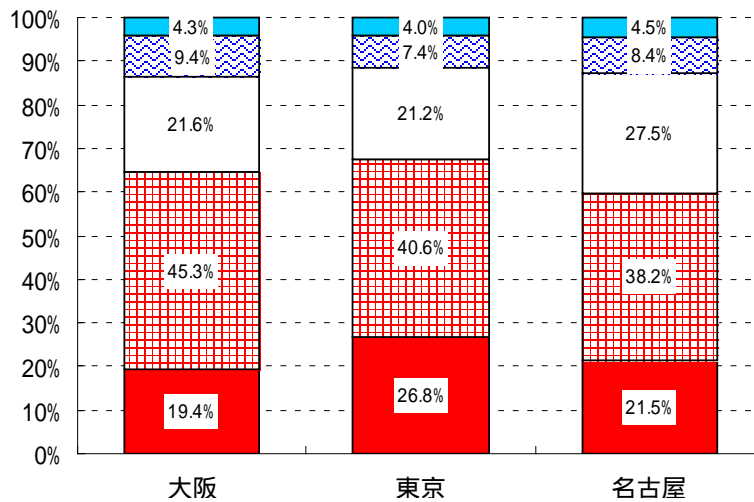
図表 7 - o . 普段、利用する情報源の端末



TOPICS ~ アグレッシブであることが就活楽勝の条件！？ ~

- ・ 2013年度の新入社員の大半は、就職活動で苦戦を強いられた。就職活動を振り返って、「とても大変だった」、「大変だった」との感想を持つ者の割合は、東名阪とも過半数を超える。
- ・ 就職活動で苦労した者が大半を占める一方、一部ではあるが「とても楽だった」、「楽だった」との感想を持った者もいる。「とても楽だった」、「楽だった」と感じた者と「とても大変だった」、「大変だった」と感じた者の間には、どのような違いがあるのだろうか？以下では、いくつかの質問項目に関するそれぞれの回答を比較してみる（以下では、前者を「楽勝組」、後者を「大変組」と記載する）。

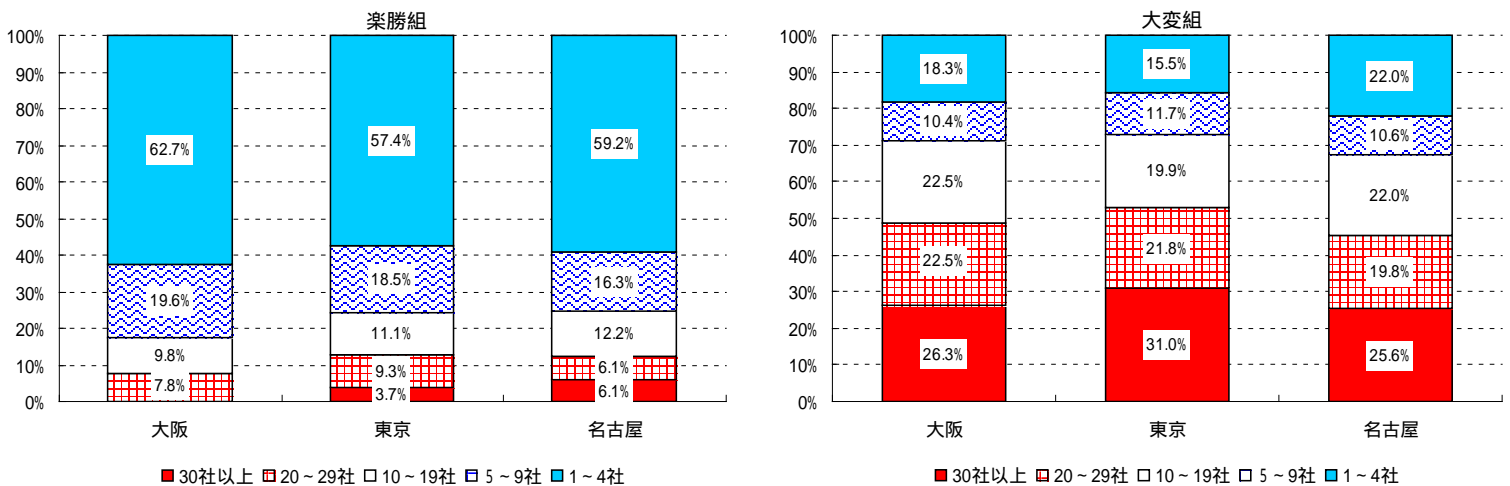
図表 8 - o . 就職活動の感想



■とても大変だった ■ 大変だった □ どちらでもなかった □ 楽だった ■ とても楽だった

- ・ 「就職活動での訪問会社数」については、「楽勝組」では半数以上が「1~4社」と少ない数であったのに対し、「大変組」では「20社以上」がほぼ半数と大変厳しい状況であった。

図表 9 - o . 訪問会社数

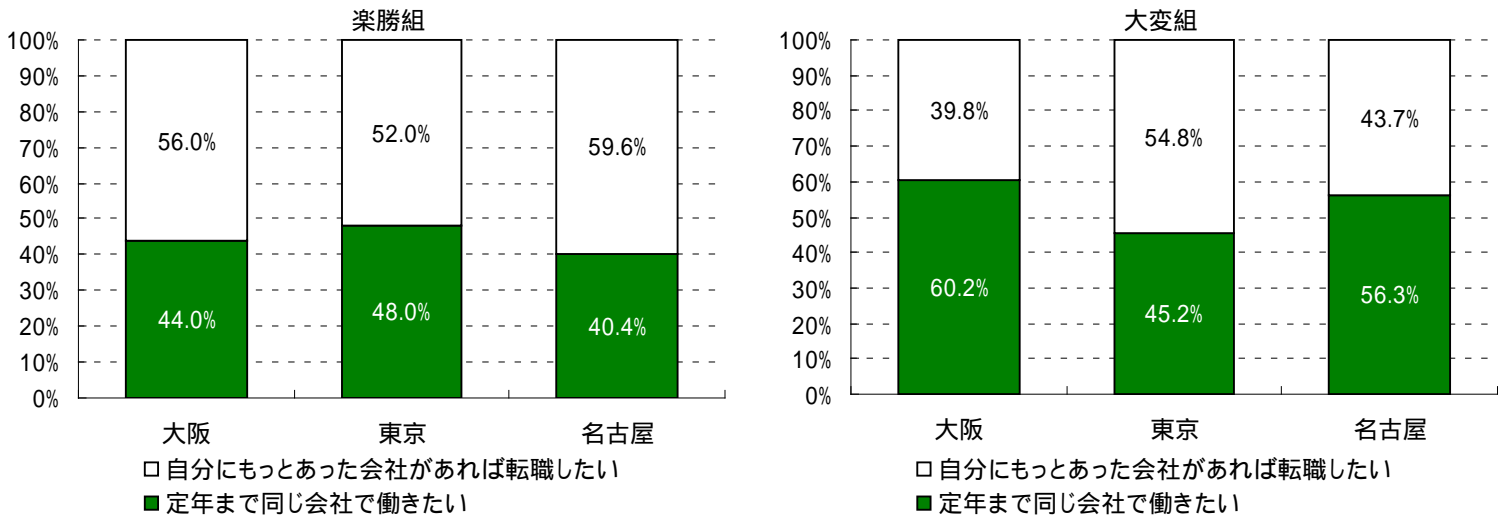


■ 30社以上 ■ 20~29社 □ 10~19社 ■ 5~9社 ■ 1~4社

■ 30社以上 ■ 20~29社 □ 10~19社 □ 5~9社 ■ 1~4社

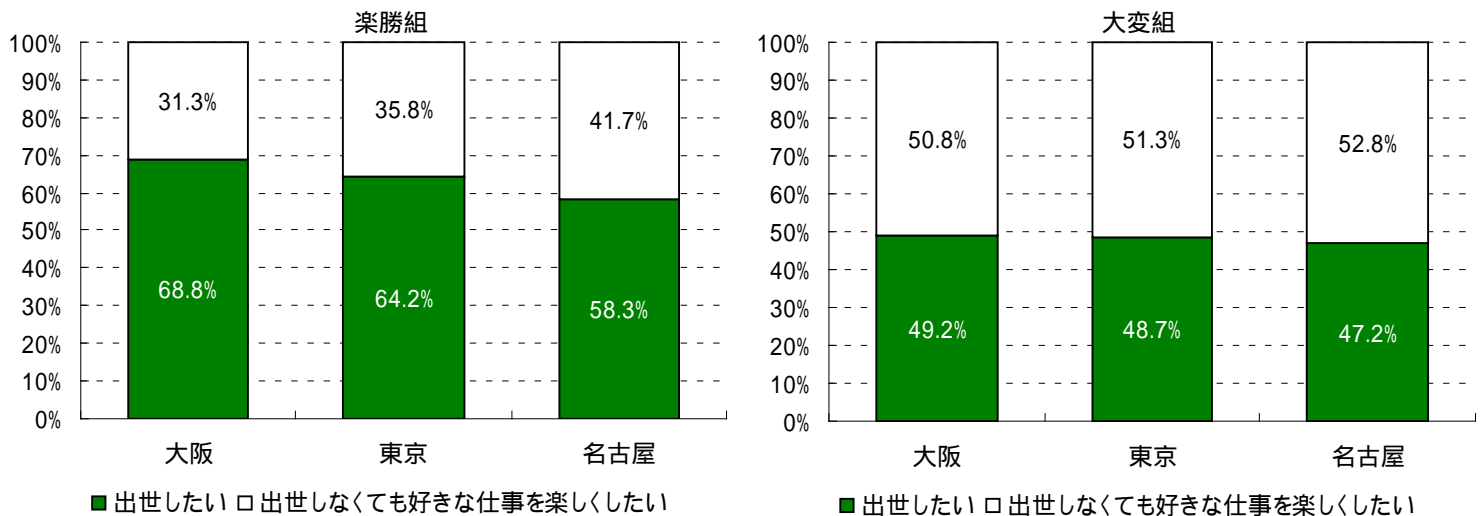
- 「就労意識」については、「楽勝組」の半数以上が「自分にもっとあった会社があれば転職したい」と回答した一方、「大変組」では東京を除いて半数以下に留まった。楽に就職を決められた者は、自分に自信を持つことができ、職を得ることに楽観的でいられることから、転職に対する心理的な抵抗がより小さいようだ。

図表 10 - o . 就労意識



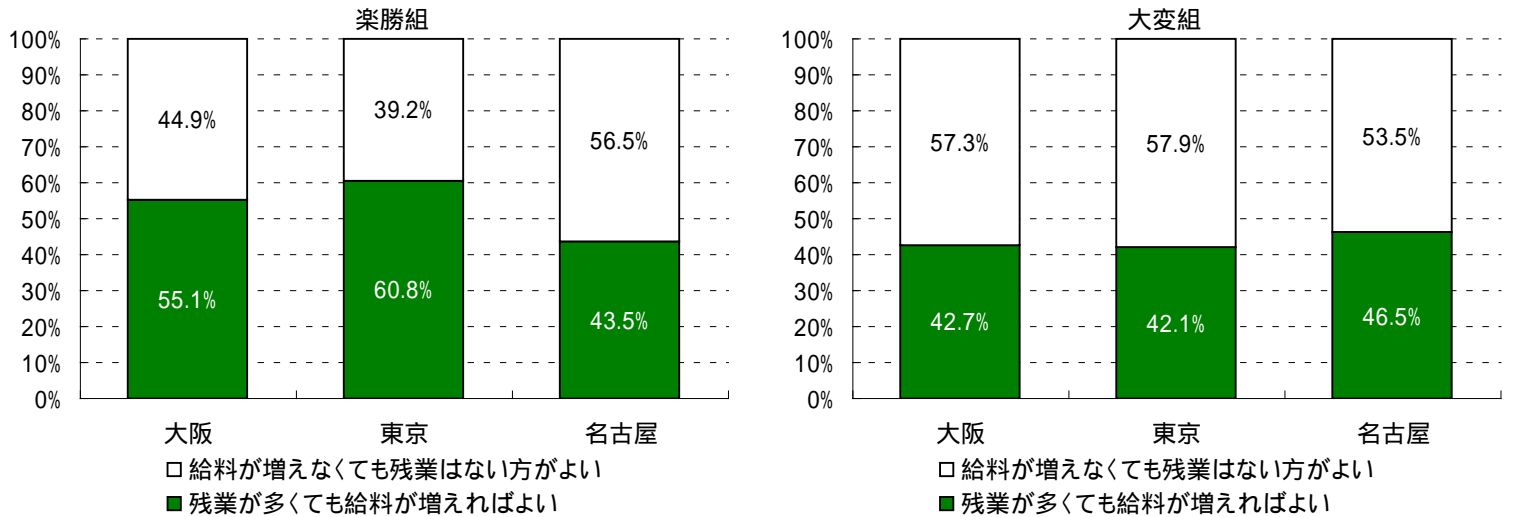
- 「出世意欲」については、「楽勝組」の半数以上が「出世したい」と回答した一方、「大変組」ではほぼ半数に留まった。こちらも、楽に就職を決められた者は自分に自信を持てる故か、苦戦した者に比べ出世への意欲が高いようだ。

図表 11 - o . 出世意欲



- 「残業に対する考え方」については、東京、大阪で「楽勝組」の半数以上が「残業が多くても給料が増えればよい」と回答した一方、「大変組」では半数以下に留まった。また、名古屋では「楽勝組」、「大変組」ともに「残業が多くても給料が増えればよい」との回答が半数を下回った。

図表 5 - 0 . 残業に対する考え方



- 「楽勝組」と「大変組」を比べてみると、「楽勝組」が、出世、転職、残業のいずれに対してもより意欲的・野心的な姿勢を示している様子が見てとれる。意欲的・野心的な姿勢であるから就職活動が楽勝となったのか、就職活動が楽勝であったからそのような姿勢でいられるのか。ここでみた結果は因果関係を特定するものではないが、何事にもアグレッシブであることが、就活に有利に働く可能性はあると言えるだろう。

< 大阪版 問い合わせ先 >

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
 調査部 塚田裕昭 (chosa-report@murc.jp)

〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2
 TEL:03-6733-1070